お口の状態と誤嚥性肺炎との関係について
―栄養サポートチームが関わった患者さんの記録をもとに調べた研究―

研究へのご協力のお願い

[研究の背景]
栄養サポートチームに介入される患者さんは、低栄養を背景として誤嚥性肺炎を起こしやすいことが知られています。特にお口の状態は、誤嚥性肺炎の発症と深く関連していると考えられています。当院ではNST介入時にお口の評価を行っていますが、どのようなお口の状態に特に注意すべきかについては詳しく分かっていません。

[研究目的]
本研究は、栄養サポートチームが関わった患者さんの診療記録をもとに、誤嚥性肺炎を起こしやすいお口の状態を明らかにすることを目的としています。

[研究の意義]
誤嚥性肺炎を起こしやすいお口の状態が明らかになれば、どの患者さんに口腔ケアを重点的に行うべきかを判断しやすくなります。その結果、必要な方へ適切なケアを行うことができ、誤嚥性肺炎の予防や、生活の質の向上にもつながることが期待されます。

[研究方法]
対象となる患者さんは、2024年4月から2025年3月までに、栄養サポートチームが関わった患者さんです。お口の状態の評価が行われていない場合は、研究の対象には含まれません。診療記録から、入院時の年齢、性別、全身状態などの背景情報に加え、お口の状態（声、嚥下、口唇、舌、唾液、粘膜、歯肉、歯と義歯）について情報を集め、どのような傾向があるかを分析します。

[倫理的配慮]
この研究計画の詳しい内容や研究結果については、お知らせすることが可能です。この研究の成果は、医学雑誌などで公表されることはありますが、個人情報（名前、住所など患者さん個人を特定できる情報）が漏れることはありません。

[利益相反]
この研究は企業資金を受けていないため、利益相反はありません。

[利益と不利益]
この研究において、個人の利益や不利益はありません。

※本研究への登録を望まれない場合は以下の問い合わせ先へご連絡をお願いします。

[お問い合わせ先]
国立病院機構　京都医療センター
〒612-8555　京都府京都市伏見区深草向畑町 1-1
TEL：075-641-9161（代表）
研究代表者：看護部　大江　智子